

ストックの作期拡大に関する研究

第2報 12月出し栽培の播種期について

柴田 浩・水越 洋三・畠山 順三

(秋田県農業試験場)

Studies on the Expansion of Cropping Season of Stock (*Mathiola incana* R.Br)

2. Seeding times for December crop

Hiroshi SHIBATA, Yozo MIZUKOSHI and Junzo HATAKEYAMA

(Akita Agricultural Experiment Station)

1 はじめに

本県の花き生産の中で、ストックは近年急速に伸びている作目のひとつで、これまで秋切り(10~11月採花)と、春切り(5月採花)のふたつの作型が施設で行なわれているが、もっと幅広く出荷できる作型の開発が望まれている。このようなことから、ストックの作期拡大の一環として昭和59年、第1報で、露地雨より栽培における秋切り(9~10月採花)ストックの作期について報告した。

本報では、12月出し栽培の播種期について検討したので、その結果を報告する。

2 試験方法

- (1) 供試品種： 早青，初桜，ホワイトワンダー
- (2) 播種時期： 8月7日，8月14日，8月21日
- (3) 加温程度： 無加温，最低気温5℃，10℃
(加温開始……11月12日)
- (4) 試験規模： 1区2m²
- (5) 耕種概要： 定植…8月7日播種は9月7日(本葉6~8枚)，8月14日播種は9月10日(本葉6枚)，8月21日播種(本葉4枚)。栽植距離…株間15cm×条間10cm，8条植え。施肥量…a 当たり成分でN：2.0kg，P₂O₅：3.0kg，K₂O：2.0kg。

3 結果及び考察

(1) 採花時期

1) 無加温栽培の採花期(図1)

8月7日播種では、早青が11月中・下旬，初桜，ホワイトワンダーが11月下旬~12月上旬であった。

8月14日播種では、早青とホワイトワンダーが11月下旬~12月上旬，初桜が12月上・中旬であった。

8月21日播種では、早青が12月中旬に採花始期となったが、12月24日に施設内の最低気温が-6℃となり、凍害をうけ採花盛期まで到らなかった。凍害個体率は約74%であった。また、初桜，ホワイトワンダーも同様に凍害をうけ採花はまったくできなかった。凍害時の生育ステージは、初桜が出蕾後期，ホワイトワンダーが破蕾期であった。

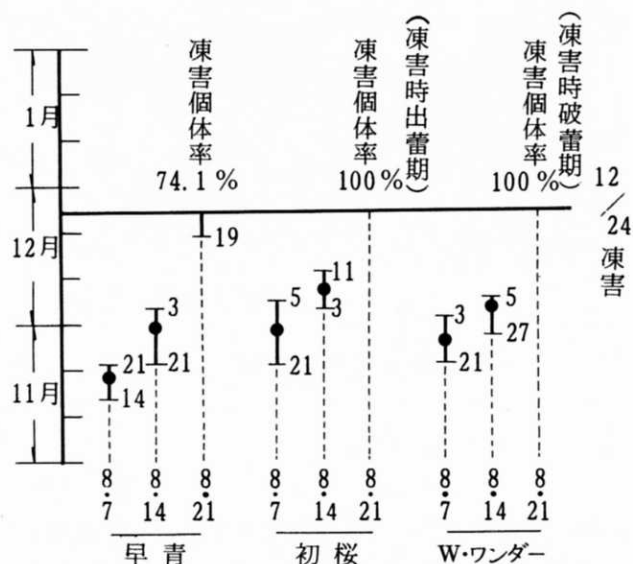


図1 無加温栽培の採花期

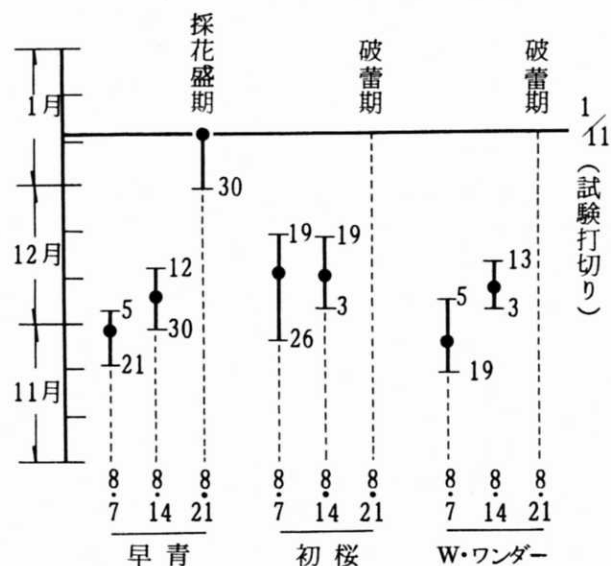


図2 5℃加温栽培の採花期

2) 最低5℃加温栽培の採花期(図2)

8月7日播種では、早青とホワイトワンダーが11月下旬~12月上旬，初桜が11月下旬~12月中旬であった。

8月14日播種では、いずれの品種とも12月上・中旬であった。

8月21日播種では、早青が12月下旬に採花始期、1月中旬に採花盛期となったが、1月11日に試験を打切ったので採花終期まで到らなかった。初桜、ホワイトワンダーは、1月11日(試験打ち切り)時点でまだ破蕾期であり、採花はできなかった。

3) 最低10℃加温栽培の採花期(図3)

8月7日播種では、早青が11月中・下旬、初桜、ホワイトワンダーが11月下旬～12月上旬であった。

8月14日播種では、早青が12月上旬、初桜が12月上・中旬、ホワイトワンダーが11月下旬～12月上旬であった。

8月21日播種では、早青が12月下旬～1月上旬、初桜では1月上旬、ホワイトワンダーは12月下旬に採花始期となったが、5℃栽培と同様に1月11日で試験を打切ったため、採花終期まで到らなかった。

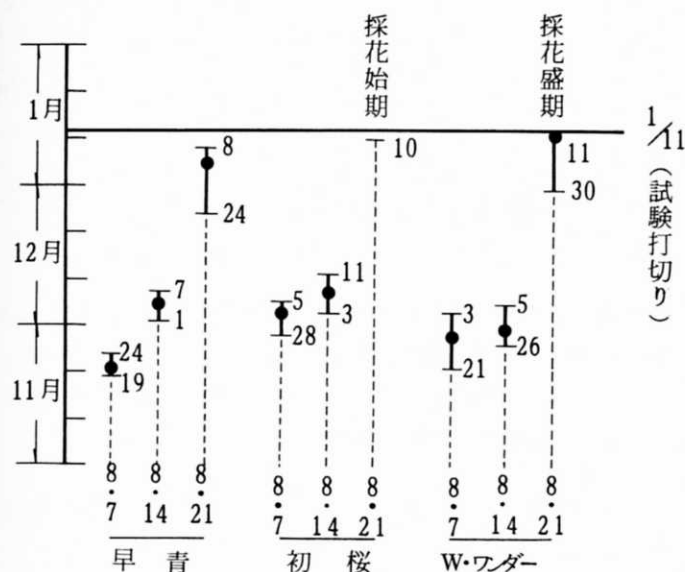


図3 10℃加温栽培の採花期

(2) 収穫物

切花長は(表1), いずれの品種, 播種期, 加温条件とも80cm以上で品質は良好であった。

葉数は, 播種期がおくれるほど少なくなる傾向がみられた。花穂長は, いずれの品種とも8月21日播種で大きく花穂の間伸びがみられた。

その他, 播種期, 加温条件のちがいによる差はみられなかった。

表1 収穫物調査

品種	加温程度	項目 播種期	切花長 (cm)	花穂長 (cm)	葉数 (枚)	茎径 (cm)	切花重 (g)
早	無加温	8. 7	(85.7)	20.8	35.8	0.79	141.6
		8.14	88.1	20.0	35.2	0.85	161.2
		8.21	82.1	20.2	29.8	0.86	156.0
	5℃	8. 7	91.0	21.9	35.6	0.82	161.6
		8.14	93.4	22.8	35.6	0.83	160.8
		8.21	94.7	26.8	33.8	0.85	181.4
青	10℃	8. 7	92.4	21.8	42.0	0.85	163.6
		8.14	91.0	23.5	35.4	0.76	147.4
		8.21	90.3	26.8	35.8	0.85	175.2
初	無加温	8. 7	90.3	21.8	36.8	0.87	190.0
		8.14	95.6	19.4	35.0	0.84	161.0
		8.21	(83.0)	—	—	—	—
	5℃	8. 7	99.5	23.7	40.6	0.92	238.0
		8.14	95.2	22.2	33.8	0.79	156.0
		8.21	(90.0)	—	—	—	—
桜	10℃	8. 7	100.4	22.5	41.2	0.87	193.0
		8.14	93.9	22.2	35.8	0.80	159.0
		8.21	93.0	25.3	32.4	0.82	146.0
W・ワンダー	無加温	8. 7	89.0	19.0	43.8	0.86	172.0
		8.14	92.2	18.7	38.6	0.86	187.6
		8.21	(78.0)	—	—	—	—
	5℃	8. 7	92.6	21.4	42.4	0.86	205.0
		8.14	91.6	18.3	38.6	0.84	194.0
		8.21	(75.0)	—	—	—	—
	10℃	8. 7	89.3	21.8	46.4	0.81	195.8
		8.14	86.2	20.8	44.6	0.81	163.2
		8.21	92.7	26.3	34.2	0.78	152.4

4 要 約

12月出し栽培の採花期について検討した。最も早い8月7日播種では、加温の影響は少なく各品種とも11月中旬～12月上旬の採花となった。また、最もおそい8月21日播種の無加温栽培では、採花前に凍害をうけやすく、5～10℃加温栽培でも、1月の採花となる。

このようなことから、12月出し栽培においては、無加温条件では凍害をさけるために12月20日ころまでには採花が終るようにすることが必要であり、その播種期は8月14～15日ころと考えられる。ただし、年次変動、品種間差等を考慮に入れる必要がある。また、5～10℃加温条件栽培では、8月20日以降の播種では1月の採花となるため、8月14日～18日ころに播種しなければならないと考えられる。